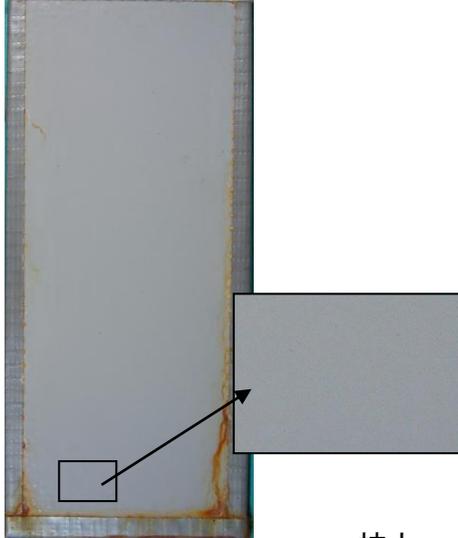
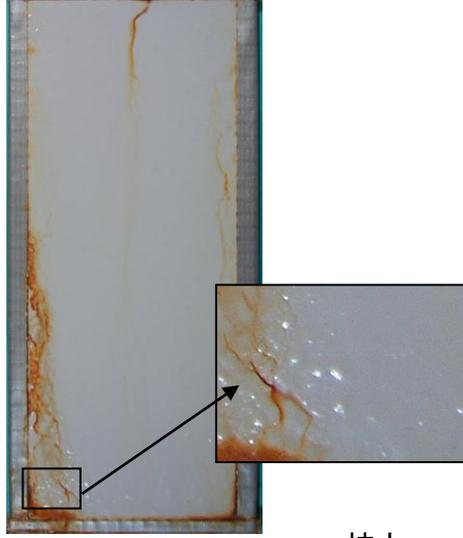


# 塩水噴霧試験による他社工法との比較

無機質コーティング協会

	①セラマックス#1000AL	②他社工法(RcⅢ塗装系)
試験片	塩水噴霧150Hrにて強制腐食させたプラスチック	同左
素地調整	水洗、乾燥後マジクロンにて浮き錆除去	同左
塗装仕様	塗材	塗材
	膜厚	膜厚
1層目	セラマックス#1000AL 75 μ m	弱溶剤形変性エポキ 60 μ m
2層目	セラマックス#2000 N 65 μ m	弱溶剤形変性エポキ 60 μ m
3層目	—	弱溶剤形変性エポキ 60 μ m
4層目	—	弱溶剤形ふっ素樹脂 30 μ m
5層目	—	弱溶剤形ふっ素樹脂 25 μ m
	トータル膜厚 140 μ m	トータル膜厚 235 μ m
養生	上塗り塗付後室温1週間後試験開始	上塗り塗付後室温1週間後試験開始
試験前		
試験結果	 <p>3000Hr後塗膜異常なし。 周囲の赤錆はシール部隙間より発生。</p>	 <p>3000Hr後塗膜に1~3mm大の膨れ多数発生。 周囲の赤錆はシール部隙間より発生。</p>